

# みちびきアイデアソン

一般財団法人日本情報経済社会推進協会

# はじめに

---

- この度は、みちびきアイデアソンにご関心いただき、誠にありがとうございます。
- 本紙は、みちびきアイデアソンの全体概要と、各募集カテゴリーの概要について記載しております。
- 何卒、よろしくお願いいたします。

01

# みちびきアイデアソンの全体概要

# みちびきアイデアソン

## ■ 実施目的

みちびき利活用のアーリーアダプターの育成、事業アイデアの高度化と事業化を支援し、新たなみちびき利活用のユースケース創出につなげること

## ■ チームメンバー

- みちびきエバンジェリスト  
各チームに1名のみちびきエバンジェリスト（次ページ参照）がファシリテーターとして入ります。  
みちびきに関する情報や知識を提供するほか、チームで検討を進めるアイデアの事業化に向けた助言を行います。
- 応募者  
予め設定した募集カテゴリー（後述）における課題について、ファシリテーターの進行の下、ご検討いただき、新たなビジネスモデルアイデアの構築を目指してください。
- 内閣府・準天頂衛星システムサービス株式会社  
必要に応じて、技術的な知識や過去の実証事例等について情報提供を行います。

みちびき  
エバンジェリスト

高精度測位  
×  
水上ドローン  
チーム

応募者等

みちびき  
エバンジェリスト

高精度測位  
×  
バイタルデータの利活用  
チーム

応募者等

みちびき  
エバンジェリスト

高精度測位  
×  
地図の高度化  
チーム

応募者等

みちびき  
エバンジェリスト

高精度測位  
×  
3次元点群データを活用し  
たインフラメンテナンス  
チーム

応募者等

みちびき  
エバンジェリスト

高精度測位&信号認証  
×  
ドローン等による取得  
データの活用  
チーム

応募者等

# みちびきエバンジェリストのご紹介



## 荒木 健史氏

宇宙航空研究開発機構・客員  
(元内閣府 準天頂衛星システム戦略室 室長補佐)

そのほか、産業総合技術研究所・研究支援アドバイザー、マゼランシステムズジャパン顧問など



## 佐藤 将史氏

一般社団法人SPACETIDE共同設立者・理事兼COO

総務省「宇宙利用の将来像に関する懇話会」構成員。気象庁「静止気象衛星に関する懇談会」委員。茨城県「いばらき宇宙ビジネス創造アドバイザー」



## 嶋田 敬一郎氏

米国生まれのアントレプレナー

世界三大広告賞、グローバルイノベーションアワード、政府系コンテスト等の受賞歴に加え、日本では災害関連の特許保有、米国においては行動分析に関する特許申請



## 春原 久徳氏

ドローン・ジャパン株式会社CEO、アルデュエックス・ジャパン株式会社CEO、セキュアドローン協議会 代表理事

農林水産省、NEDOや各業界団体でのドローン関連の講師を年間60~80回程度行っている



## 野澤 宇一郎氏

株式会社マイスター常務取締役

2006年から2018年の12年間、Microsoft Valuable Professionalアワードを受賞し、MicrosoftのビジネスグラフィックスソフトウェアVisioに関する啓蒙活動に従事



## 畑田 康二郎氏

将来宇宙輸送システム株式会社 代表取締役、将来宇宙輸送システム株式会社代表取締役、株式会社ispace社外取締役、株式会社アークエッジ・スペース社外取締役、株式会社デジタルハーツプラス取締役

02

ご参加にあたって

# 開催概要

日時	2023年11月9日（木） 15:00～18:00
場所	対面およびオンライン ※可能であれば、対面でご参加いただけますと幸いです。 （対面会場）一般財団法人日本情報経済社会推進協会内会議室 東京都港区六本木1丁目9-9 六本木ファーストビル 1階 アクセス： <a href="https://www.jipdec.or.jp/ov/office.html">https://www.jipdec.or.jp/ov/office.html</a> （オンライン）zoomでの実施となり、接続用URLは別途ご案内いたします。
参加費	無料
定員	50名 ※ 上限に達し次第、募集を締め切らせていただきます。 ※ 募集締め切り時点で参加者が10名に満たない場合は中止とし、既に応募いただいた方々には中止の旨をご連絡いたします。
募集カテゴリー	1. 高精度測位×水上ドローン 2. 高精度測位×バイタルデータの利活用 3. 高精度測位×地図の高度化 4. 高精度測位×3次元点群データを活用したインフラメンテナンス 5. 高精度測位 & 信号認証×ドローン等による取得データの利活用
対象者	● 前項の募集カテゴリーについて、関連する業界でお仕事をされている方 ● その他、起業家・企業の事業開発担当者・事業開発の専門家・今後新しい事業の立ち上げを検討されている方など
応募条件	● 上記対象者に該当し、途中参加・途中退席せずに、終始ご参加いただける方 ※ 応募いただいた場合でも参加いただけない場合もございます。 ※ 参加いただけることが確定しましたら、別途お知らせいたします。

# ご参加いただく上で必要なもの・プログラム

## ご参加いただく上で必要なもの

当日は、対面とオンラインのハイブリットでアイデアソンを実施します。

資料等の説明にあたっては、オンライン上で資料共有して行いますので、**ご参加者自身でPCをご用意ください。**

## プログラム（予定）

時間	プログラム
15:00-15:10	開会挨拶
15:10-15:30	みちびきが提供するサービスについて（準天頂衛星システムサービス株式会社より説明）
15:30-15:40	ファシリテーター紹介
15:40-15:45	チーム分け（ファシリテーター及び参加者は、カテゴリーごとにブレイクアウトルームへ移動）
15:45-16:00	ファシリテーターより各チームごとの進め方を説明
16:00-16:40	ディスカッション①
16:40-16:45	小休止
16:45-17:25	ディスカッション②
17:25-17:50	各チームからの発表（1チーム×5分、ファシリテーターが代表して発表）
17:50-18:00	閉会挨拶



## 留意事項

みちびきアイデアソン（以下、「本会」という）は、準天頂衛星システムサービス株式会社が主催し、一般財団法人日本情報経済社会推進協会が事務局となって実施する取組となります。

### <知り得た情報について>

本会参加者におかれましては、下記の事項に加え、本会で知り得た一切の情報について、発言者の許可を得ることなく、本会参加者以外への開示・共有等行うことはお控えください。

1. ご参加されている方々の個人に関する情報（所属組織名、部署名、役職名、氏名等）
2. 本会での発言の中で、まだ公になっていない企業の取組に関する情報（開発中の製品・サービスに関する情報等）

※ 本会参加者とは、事務局の募集に対して応募し、事務局より参加を承認された個人を指します。

※ 本会参加者同士のその後のお取引等を制限するものではありません。

### <当日の進行>

カテゴリーごとに、みちびきエバンジェリストがファシリテーターを担当します。

当日の進行は、ファシリテーターが行いますので、グラドルール（次ページ参照）を遵守し、ファシリテーターの進行に従いながら、スムーズな進行の実現にご協力ください。

みちびきアイデアソンにおいては、  
以下のグラドルールを踏まえてのディスカッションをお願いいたします。

## ー グラドルール ー

- **テーマについて対話しましょう**  
時間は有限です。テーマに関連する対話を心掛けましょう
- **積極的な発言を心がけましょう**  
黙って聞いているだけというのはご法度です
- **他のメンバーの話に耳を傾けましょう**  
発言者の話を最後まで聞きましょう
- **対話することを意識しましょう**  
一人が独演する状態は避け、みんなで対話しましょう
- **批評、批判、人格否定はしない**  
アイデアを出し切ることに集中しましょう
- **結論を無理にまとめる必要はありません**  
自分の正解に固執せず、アイデアの変化を楽しみましょう
- **“いま”ではない未来を空想しましょう**  
現時点では技術的にも実現が難しいと思われることも、  
「もし実現出来たら？」と空想しての発言も大歓迎です

# 03

## 募集カテゴリーの概要

応募される際には、次ページ以降のカテゴリーを一つ選択して、ご応募ください。

# 高精度測位×水上ドローン

## ■ 海洋分野における課題感

- 海洋・河川・湖等で行われる産業分野においても高齢化が進んでおり、産業として立ち行かなくなる懸念がある。

## ■ 検討事項

- 人的リソース不足に対応するため、“高精度測位”と“水上ドローン”を活用し、早期のDX化につながる分野やその活用方法、また、実現に係る課題感を検討する。

## ■ ゴール

- 上記の検討を通じて、高精度な位置情報を利用した水上ドローンが活躍できる新たなビジネスモデルアイデアを整理します。



日本経済発展の可能性を秘める海洋産業における水上ドローンの活用を一緒に考えませんか？

# 高精度測位×バイタルデータの利活用

## ■ バイタルデータの幅広い利活用に関する課題感

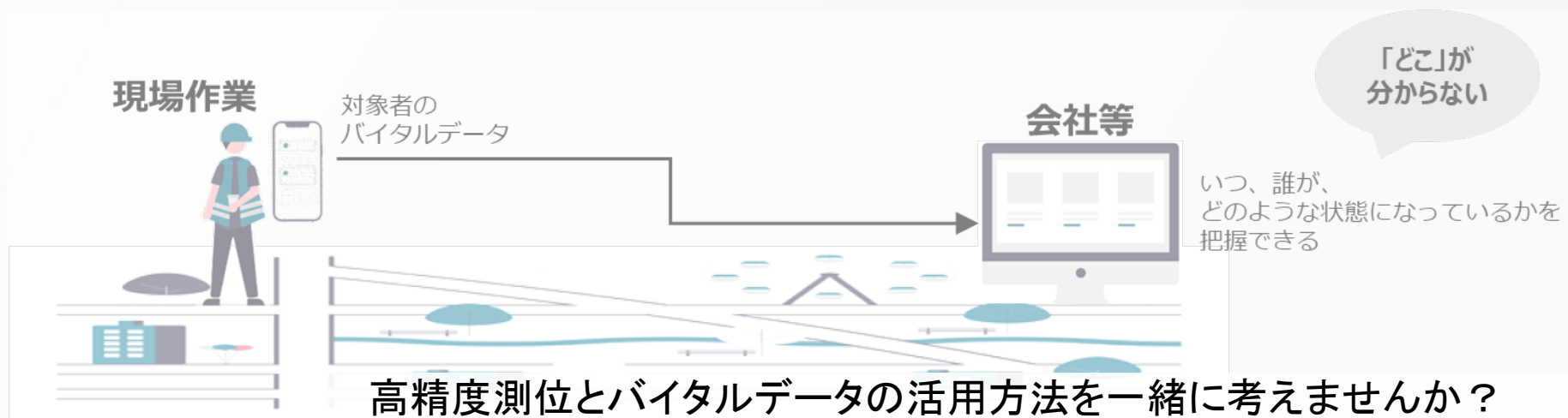
- 様々な場面でバイタルデータの利活用が広がっているが、基本的には屋内における取得を前提としたものであり、屋外でのバイタルデータ活用が進んでいない。

## ■ 検討事項

- 職業運転手・危険職場労働者など、屋外で仕事する方々の疲労やストレスなどを分析するために、高精度な位置情報を加えたバイタルデータの利活用分野や利活用方法について検討する。

## ■ ゴール

- 上記の検討を通じて、バイタルデータと高精度な位置情報を用いた新たなビジネスモデルアイデアを整理します。



# 高精度測位 × 地図の高度化

## ■ 容易に使えるデジタル地図に対する課題感

- 高精度な位置情報を容易に得ることができる環境が整いつつあるが、一般的に容易に利用することができるデジタル地図は、そのような高精度な位置情報を活かすことができていないのではないか。

## ■ 検討事項

- 歩道や勾配・段差の情報などが必要な車椅子ユーザーをモデルケースとして、地図における課題感を整理し、高精度な位置情報を活用した使いやすい地図に求められる要素を検討する。

## ■ ゴール

- 上記の検討を通じて、高精度な位置情報を活用できる地図の新たなビジネスモデルアイデアを整理します。



高精度な位置情報も活用できる  
誰しものが本当に使いやすい地図を一緒に考えてみませんか？

# 高精度測位×3次元点群データを活用したインフラメンテナンス

## ■ インフラメンテナンスに関する課題感

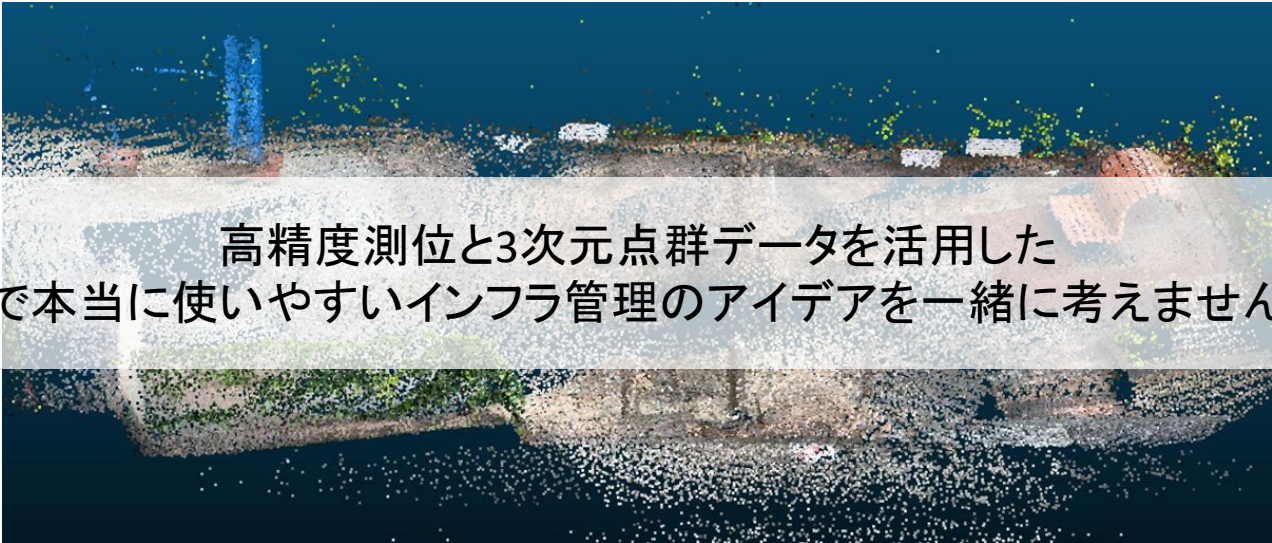
- 急速に進むインフラの老朽化と少子高齢化による作業員不足という状況の中、インフラが持つ機能が将来にわたって適切に発揮できる、持続可能なインフラメンテナンスを実現していく必要がある。

## ■ 検討事項

- 高精度測位と3次元点群データを活用し、メンテナンスサイクルの設立、技術の継承・育成等に資するインフラメンテナンスの方法を検討する。

## ■ ゴール

- 上記の検討を通じて、高精度測位と3次元点群データを用いたインフラメンテナンスの新たなビジネスモデルアイデアを整理します。



高精度測位と3次元点群データを活用した  
現場で本当に使いやすいインフラ管理のアイデアを一緒に考えませんか？

# 高精度測位 & 信号認証 × ドローン等で取得するデータの利活用

## ■ ドローン等で取得するデータの利活用に関する課題感

- 例えば、一般的な点検作業や工事現場において、写真や映像を使った報告書を作成する際には、日付や現場名称などを記載した黒板を一緒に写りこませるなどの工夫がされているが、ドローン等で撮影するような写真・映像にそのような工夫は困難である。
- そうしたことから、写真や映像データの日付等が改ざんされるリスクがある。

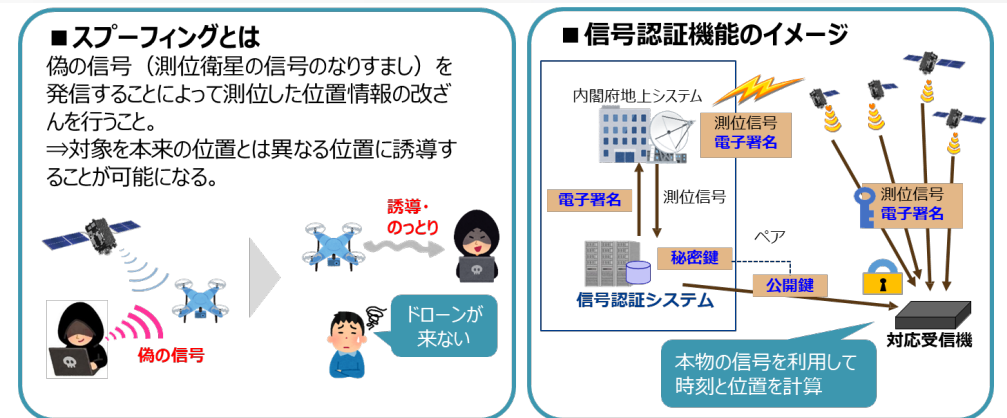
## ■ 検討事項

- 準天頂衛星システムが2024年度を目途に本運用を開始する信号認証機能を用いて、データの真正性を担保することによって、高精度な位置情報を活用してドローン等が取得したデータの利活用方法を検討する。

## ■ ゴール

- 上記の検討を通じて、ドローン等の分野において信号認証機能を用いた新たなビジネスモデルアイデアを整理します。

衛星信号の真正性を担保することで、どのようなビジネスが生まれるのか、一緒に考えてみませんか？





# JIPDEC



あなたの未来を守る、創る。

25<sup>th</sup>  
Anniversary